

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
福島都心地区

平成24年4月

福島県福島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者・自転車通行量	人/日	60,200	63,200	43,311	確定 見込み ●	×	あり なし ●	44,581	H23年7月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	リニューアルした集客施設により、日曜日の通行者が増加している。
指標2	レンタサイクル利用者数	人/年	18,062	20,000	17,027	確定 見込み ●	×	あり なし ●	15,444	H23年4月	×	事業のPR不足及び東日本大震災の影響による。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	レンタサイクル利便性の向上を図るため、貸出しシステムの検討が必要である。
指標3	中心市街地地区人口	人	14,106	14,800	14,624	確定 見込み ●	△	あり なし ●	14,252	H23年10月	×	人口流出現象が続いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災に伴う原子力発電所事故による風評被害等で、人口が流出の傾向にある。
指標4					確定 見込み		あり なし		H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5					確定 見込み		あり なし		H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	福島駅東西自由通路歩行者通行量	人/日	9,457	/	9,824	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2	駅までのアクセス時間	分	11	/	9	確定 ● 見込み	/	/	9分5秒	H24年2月	/	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前の旅行時間より約2分短縮しており、駅へのアクセスが向上していると評価できる。
その他の数値指標3	都市計画道路整備率	%	75.71	/	79.58	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	中心市街地への居住促進	・民間が実施する優良建築物等整備事業により居住施設を誘導した。	民間テナント、駐車場、教育施設、共同住宅で構成された複合施設が整備され、中心市街地の居住人口が増加した。	
	安心して住み続けられる住居環境の整備	・電線類地下埋設施設事業及びポケットパーク整備事業を実施した。 ・耐震性のある水道管の整備及び消火栓の新設、新設道路に下水道施設を整備した。 ・福島駅周辺部のバリアフリー化を実施した。	緑化推進による良質な生活空間の提供、インフラの耐震化による防災機能の拡充、段差解消等による快適な歩行空間の整備により、中心市街地への居住施設を誘導した。	
	回遊性の向上	・低料金循環バスルートの検討を社会資本整備総合交付金事業の関連事業として実施することとした。 ・街路事業曾根田町桜木町線について、事業化への協議を行った。	・平成23年度より、都市再生整備計画事業<福島中心市街地地区>を開始し、低料金循環バスのルート検討を平成24年に実施する予定である。 ・街路事業曾根田町桜木町線について、H23は関係部署と協議を行い、H24年度内に事業認可を取得し、H25年度内に事業に着手する予定である。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	交通網の更なる整備	都市計画道路 腰浜町庭坂線の暫定供用区間の整備、曾根田町桜木町線の事業認可取得へ向けた協議を実施した。	・腰浜町庭坂線の暫定供用を平成23年度から開始することにより、都市部における交通の円滑化に寄与した。 また、平成24年度内に曾根田町桜木町線の街路事業認可を取得し、平成25年度から事業に着手する予定である。	
	中心市街地の賑わいの促進	・福島商工会議所と連携し、年間イベントPR7のためのイベントカレンダーを配布した。	・例年以上のイベント開催が見込まれたが、東日本大震災に伴い4・5・6月のイベントの58%が中止となった。 ・イベントカレンダーの配布も、年3回の計画であったが、東日本大震災により、そのうち1回を中止した。	・東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により、人口減少傾向にあるが、今後は、復興に向けたイベントが企画されている。
	レンタサイクルの利用拡充	・平成22年度、新たにMAXふくしま(曾根田町)にレンタサイクル貸し出し所を設置した。	・MAXふくしまは、百貨店をリニューアルした集客施設であるため、今後も利用者は増える見込まれる。	・レンタサイクルの利便性向上に向けた新たな改善策・方策の検討が必要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
レンタサイクルの利便性の向上	平成24年度 レンタサイクル貸出しシステムの検討(返却方法、利用時間等の検証) 平成25年度 貸出しシステムの検討によるレンタサイクルの社会実験を実施	H24・H25	レンタサイクルの利用拡充に効果的なPR方法や、観光ルートマップの作成。交通事業者と連携し、協働による運営方法の確立が課題である。